

(2) 定款第4条第1項第2号の事業 (文化芸術活動に係る人材の育成及び体験機会の提供)

文化芸術ボランティア育成事業や歌舞伎・狂言の鑑賞入門講座、アウトリーチ事業などを継続して実施することにより、文化芸術に関わる人材の育成と啓発を図りました。

東日本大震災で傷ついた沿岸部の被災地住民の心のケアを目的としたゴスペルワークショップ、朗読講座や管楽器クリニックを実施しました。また、文化芸術ボランティア育成事業や歌舞伎鑑賞入門講座、アウトリーチ担い手育成事業などを継続して実施しました。

(単位：円)

事業名	事業概要	実施時期・場所	入場者数	収益	費用
文化芸術ボランティア育成事業	内容：鑑賞事業におけるボランティア業務ほか	通年 東京エレクトロンホール宮城	参加者のべ 67	-	123,538 収支差額 △ 123,538
ゴスペルフェスティバル 実行委員会連携事業 被災地ワークショップ (「心の復興」事業)	分野：ゴスペル 内容：沿岸部の被災地住民の心のケアを目的としたゴスペルワークショップ 講師：ジョン・ルーカス、 福森雄一	平成29年 9月～11月 女川町まちなか交流館 山元町中央公民館 5回×2地域 計10回	参加者のべ 215	(県助 748,000) 748,000	(人件費等を 除く) 収支差額 748,000
みやぎ心の復興 ジュニアジャズ ミーティングinみやぎ (「心の復興」事業)	分野：ジャズ 内容：沿岸部の被災地の児童の心のケアを目的としたジャズ発表会 出演：気仙沼ジュニアジャズ オーケストラ ほか6団体	平成29年 9月10日(日) 東京エレクトロンホール宮城	参加者のべ 2,755	(県助 2,000,000) 2,000,000	(人件費等を 除く) 収支差額 114,732
みやぎ心の復興 「朗読講座」 (「心の復興」事業)	分野：朗読 内容：沿岸部の被災地市民の心のケアを目的に実施。 主に東北にゆかりのある作家の小説(昔話)をテキストに朗読講座を展開 講師：渡辺祥子	震災被災地域 岩沼市民図書館 東松島コミュニティセンター 8月～2月 (6,8講座+発表会) 計16回	参加者のべ (全16回参加者及び鑑客) 560	(県助 1,103,000) 1,103,000	(人件費等を 除く) 収支差額 316,003
鑑賞入門講座	講師：葛西聖司(歌舞伎) 石田幸雄(狂言) 内容：古典芸能をより深く理解してもらうため、歌舞伎狂言公演のみどころを解説	平成29年 7月2日(日), 12月11日(月) (歌舞伎, 狂言) 計2回	歌舞伎 116 狂言 83 計 199	(入 107,130) 107,130	377,410 収支差額 △ 270,280
芸術銀河アウトリーチコンサート	出演：杜ノ弦楽四重奏団等宮城県出身者, 在住の若手芸術家 内容：生の芸術に触れる機会が少ない児童・生徒に、鑑賞機会を提供する「アウトリーチ活動」として実施	平成29年 9月14日(木) ～2月9日(金) 宮城県内学校 16カ所 16公演	参加者のべ 908	-	1,396,571 収支差額 △ 1,396,571

事業名	事業概要	実施時期・場所	入場者数	収益	費用
被災地管楽器クリニック	内容:被災地の小中学生を対象とした管楽器クリニック及び発表会 講師:アウトリーチ実演者によるホルン、パーカッション、クラリネット、トランペット、フルート、ユーフォニアム、テューバ、トロンボーンクリニック	平成29年6月11日(日)～平成30年2月10日(土) 気仙沼市立新月中学校 全6回:成果発表 1回 計6回	参加者のべ 319 コンサート 600	2,310,149 (助 2,310,149)	2,041,873 (人件費等を除く) 収支差額 268,276
心の復興支援事業 (地域芸能等再興支援事業補助業務) (県受託事業)	分野:地域芸能等 内容:被災により課題を抱えた地域芸能等の再興支援に向けた調査、県プロジェクト事業補助(企画検討委員会発足、アウトリーチ事業の実施) 団体:熊野堂十二神鹿踊、登米市民俗芸能協会ほか 8団体調査	調査:平成29年6月～平成30年3月 各地域芸能練習会場等(仙南、仙台、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼圏)計8回 アウトリーチ:平成30年2月14日、22日、23日南三陸町立志津川小学校計3回	アウトリーチ:参加者のべ 117	2,368,941 (県受 2,368,941)	1,158,393 収支差額 1,210,548
芸術銀河音楽アウトリーチ事業運営業務 (県受託事業)	(1) 芸術銀河音楽アウトリーチ市町村事業 分野:器楽・声楽 内容:県内の市町村、公立文化施設等が主体となって行うアウトリーチ事業に助成する。 出演:Quatour B, ジュスカ・グランペール, アルプス音楽団, 中川賢一ほか	平成29年6月～平成30年3月 登米市, 栗原市, 多賀城市, 白石市 蔵王町ほか 全9団体 計38回	4,195	1,800,000 (県受 1,800,000)	1,346,070 収支差額 453,930
	(2) 音楽アウトリーチ普及事業 分野:器楽・声楽 内容:県の支援により、アウトリーチ事業の拡充を図る 出演:宮城県出身、在住の若手アーティスト	平成29年6月～平成30年3月 宮城県内学校等 12カ所, 12公演	625	2,700,000 (県受 2,700,000)	2,702,000 収支差額 △ 2,000
文化庁受託事業 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」	震災により甚大な被害を受けた地域の子供たちが文化芸術活動に触れて心を潤す事業において、実行委員や芸術家との連絡調整や経理業務を行った。(実行委員会業務の一部)	平成29年5月～平成30年3月 113件(うち中止1)	11,837	494,803 (雑 494,803)	2,343 収支差額 492,460
合計	計画10事業(67公演, 35講座, その他1) 実施11事業(67公演, 34講座, その他2)		22,397	13,632,023 (入 107,130) (県受 6,868,941) (県助 3,851,000) (助 2,310,149) (雑 494,803)	12,351,001 収支差額 1,281,022

(注)県助:受取県助成金, 県受:県文化事業受託収益, 助:独立行政法人日本芸術文化振興会 民間助成金, 雑:雑収益, 入:入場料収益

(注)上記のほか自主鑑賞事業の調査・企画に関する経費160,484円